

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

单位数： 2 单位

教科 公民 の目標：

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現に向け、諸資料や統計、他者の意見を参考にして、現代の諸課題を主体的に解決する姿勢を持つ。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
公共で学習したことに基づき、現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付ける。	公共で学習したことに基づき、現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見いだし、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。	公共で学習したことに基づき、現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 現代国家と民主政治 【知識及び技能】国民主権、立憲主義の意義と役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】国民主権とは何か、現代の人権保障の課題等を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に憲法や歴史について学習しようとする。	・指導事項 国内政治と法の意義と機能について、小中学校社会科と「公共」での学習との関連性に留意して教授する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識・技能】 国民主権、立憲主義について意義と役割を理解できている。 【思考・判断・表現】 国家と人民のかかわりについて、歴史的背景を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に政治や立憲主義について学習しようとしている。	○	○	○	7
	B 日本国憲法と基本的人権 【知識及び技能】 基本的人権の保障を具体例、判例を交えて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】日本国憲法と大日本帝国憲法の違いを時代背景から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】憲法と自らの私生活の関連について学習しようとする。	・指導事項 憲法の意義と機能について、小中学校社会科と「公共」での学習との関連性に留意して教授する。 過去の判例をもとに、人権について考察する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識・技能】 基本的人権の種類について具体例を交えて理解できている。 【思考・判断・表現】 過去の判例を考察し、人権課題について自己の言葉で表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に政治や人権に関する課題について学習しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	C 日本の政治制度と政治参加 【知識及び技能】 日本の政治機構について、立法、行政、司法それぞれの面から理解する。 【思考力、判断力、表現力等】三権分立のそれぞれが持つ課題について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】裁判員制度や死刑制度の是非を考え、主体的な司法参加の意識を高める。	・指導事項 三権分立の意義と機能について、小中学校社会科と「公共」での学習との関連性に留意して教授する。 立法府、行政府、司法府の役割を考察する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識・技能】 国会、内閣、裁判所の関係性を具体的に理解できている。 【思考・判断・表現】 三権分立意義を判断できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に統治制度に関する課題について学習しようとしている。	○	○	○	10
	D 世界のおもな政治制度 【知識及び技能】 議院内閣制と大統領制の違いを主に、世界各国の政治制度を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】各国の政治制度の違いを歴史的背景から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】政治制度の長短を学習しようとする。	・指導事項 議院内閣制と大統領制の差異について、小中学校社会科と「公共」での学習との関連性に留意して教授する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識・技能】 議院内閣制と大統領制の差異を理解できている。 【思考・判断・表現】 各国の政治制度の特徴を自己の言葉で表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に各国の政治制度に関する課題について学習しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

2 学 期	A 現代の経済社会 【知識及び技能】 資本主義経済の仕組みと成り立ちを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場、企業の役割を身近な例を挙げて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 金融や財政の仕組みを時事的なニュースをもとに学習しようとする。	・指導事項 諸資料から、経済活動と市場について、教授する。その際には、小中学校社会科と「公共」での学習との関連性に留意して教授する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識・技能】 資本主義経済と社会主義経済の意義と役割を理解できている。 【思考・判断・表現】 身近な経済活動から、物価と景気変動を考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に金融や租税などについて学習しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 現代の日本経済と福祉の向上 【知識及び技能】 戦後復興以降の日本経済史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 中小企業の現状など、日本経済の課題を理解させ、望ましい解決の方向を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 経済活動に関して、自身が経済主体の一員であることを自覚できる。	・指導事項 日本経済について、小中学校社会科と「歴史総合」「日本史探究」「公共」での学習との関連性に留意して教授する。 中小企業と農業など、身近な経済主体や食糧問題を考察する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識・技能】 日本経済史について、諸資料から適切かつ効果的に読み取り理解する。 【思考・判断・表現】 中小企業、農業問題などの日本の経済における諸課題について、解決策を含め考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に経済問題について学習しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	A 現代日本における諸課題の探求 【知識及び技能】 少子高齢化や社会保障問題等の現代社会における諸問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題に対し、望ましい解決方法を自分なりに考える。 【学びに向かう力、人間性等】 社会に対して、自分自身にできることを考える。	・指導事項 少子高齢化や社会保障について、小中学校社会科と「公共」での学習との関連性に留意して教授する。 事例をもとに、解決策について考察する。 ・教科書、資料集 ・ワークシート ・ICT機器によるスライド、動画	【知識・技能】 少子高齢化の問題点について理解できている。 【思考・判断・表現】 社会保障の課題と解決法を事故の言葉で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に現代の諸課題について学習しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
合計							70